



鞍手町立小学校のあり方検討便り

第4号

令和3年12月22日

(カラー版)

【令和3年12月9日 第4回検討委員会開催分】

第4回の検討委員会では、これまで事務局より説明してきた学校規模が児童の学習面や生活面に与える影響及び学校運営に与える影響について、鞍手町の小学校で現実にもどのような形で現れるのか、各小学校で撮影した動画を視聴することで理解を深めました。

その上で、子ども達の最適な教育環境を考えたとき、現状の6小学校を維持していくべきなのか、それとも何らかの形での統合が必要なのかについて、議論しました。

○ 町内小学校の登校風景・授業等の様子

町内6小学校の中でも児童数の少ない室木小と古月小、そして最も児童数の多い剣南小の授業や昼休み等の様子を視聴しました。室木小での複式学級(※)の授業や古月小の少人数の授業の様子を見た委員からは、自らの小学校生活の記憶とのあまりの違いに「衝撃を受けた」との意見も聴かれました。また、複式学級の授業での教師の負担の大きさや、剣南小学校の授業で多様な意見が出されている様子など、学校規模が児童や学校運営に与える影響について確認する機会となりました。

※ 児童数の減少により、2つ以上の学年の児童で構成される学級のこと。

○ 小学校の統合について

事務局として、子ども達の最適な教育環境を考えると、何らかの形での小学校の統合が必要と考えていることを伝え、検討委員会としてはどう考えるのか、協議を開始しました。

出席した全ての委員から活発な意見が出され、検討委員会の結論としては、なんらかの形での統合が必要であり、統合をすすめていく上では、小学校の統合に対して児童がスムーズに適應できるような施策を検討し実行していくこと重要であるとの結論になりました。

次回以降の検討委員会では、何校の小学校に統合するのか、統合後の小学校の場所は何処にするのかといったことについて、さらなる検討をすすめていくこととしました。

【委員から出された意見の内容】

- ・学習面では少人数に魅力を感じるが、人間関係等総合的にみると統合が必要だと思う。
- ・人間関係を築いていく等の面で、人数が少ないより多い方が人間的に成長できると思う。
- ・少人数校だと友達関係等で不安に思うことが多いと、実際に通わせている保護者から聞く。
- ・どの小学校も施設面の老朽化が激しく限界。新しい校舎を整備して早急に統合するべきだと思う。
- ・中学校で、小学校の規模の10倍の集団に属することになるのでは、適應が難しい。
- ・現状に不満を持っていないが、複式学級の様子を見ると、これを回避する必要がある。
- ・運動会などの行事やPTAの活動にしても、児童数の減少で成立しなくなってきていて限界を感じる。
- ・統合するのであれば、児童がうまく統合に適應できるような手立てを講じる必要がある。
- ・統合するのであれば、統合前の学校の歴史や伝統を可能な限り統合後の学校へ継承してほしい。



発行責任・編集

鞍手町教育委員会 教育課教育環境整備係

E-mail : gakkoukanky@town.kurate.lg.jp

この便りは、町のホームページに掲載しています。

Tel 0949 - 42 - 7202

Fax 0949 - 42 - 0149

<https://www.town.kurate.lg.jp>



HP QRコード